

2023. 7. 10

Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

- 植物モニタリング活動 7/17、8/7、8/14、8/21 9:00 ため池公園梅林下集合
 - ニリンソウを守る会例会 8月はお休みします 9/10再開 10:00 大門ひろば集合
＜活動内容＞簡単な作業+どんぐりまつりのための準備
- *やる気のある人の自発的活動の集まりです。どの活動も、誰でもいつでも参加できます。
＜問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715＞

夏の林 一面の緑の中に息づく命

「植物」というと、庭園に植えられている色とりどりに咲く花畑のイメージを持っている人が多く、ニリンソウが地上から姿を消して、他の野草が一面を覆うこの写真の光景は「なんだ、雑草ばかりじゃないか」と嘆く人がいます。

でも、これが自然の本来の姿。一見してただの緑が広がっているだけのように見えますが、年間を通して城址地区で300種、大門地区で200種以上の植物が生きています。

他の植物の生育を妨げる恐れがある「生態系被害防止外来種リスト」

に載っている植物は、場所によって「ご遠慮」していただかなければならないとしても、生きていてはいけない植物はひとつもありません。

↓大門地区の擬木に絡んだつる性の植物は、この写真の中だけで、キカラスウリ、ガガイモ、ノササゲの3種類。いずれもきれいな花を咲かせ、果実も見ごたえある植物です。



「外来種リスト」に載っている↓アメリカオニアザミにも昆虫がやってきて蜜を吸っています。植物にとっては交配を手助けしてくれるので相互依存の関係になります。たくさんの

生き物がお互いに支え合って生きている関係を「生物多様性」と

言い、その多様性を保全しようとしているのが赤塚公園です。



林の中には、こんな花が咲いています



左上ハエドクソ
ウ、上中ダイコン
ソウ、上右ウバユ
リ 左中ヤブラ
ン、右中ハグロソ
ウ、右下ミズヒキの
群落

左下、林の奥
でキツネ
ノカミソ
リが咲きだし
ました、ハグ
ロソウとキツ

ネノカミソリは赤塚公園で夏に咲く絶滅危惧種です。

**灼熱の下でもしっかり生きている野草
たちを「雑草」と呼んではなりません**

↓トキワハゼ

トウバナ↓

これらは、人が歩くところに咲
いていて、誰もが一度は見たこと
があるはずです。

樹木の枝先を見ると、下左から
カマツカの実、ムラサキ
シキブの実がまだ青く、ただ
いま成熟中。



カクレミノ は雄花と雌花が揃って咲いていました (下右)

